

スロラニ通信

NPO Srolanh Project

2015年

第1号

平成27年 1月 5日発行
 特定非営利活動法人
 スロラニ プロジェクト
 ☎655-0049
 兵庫県神戸市垂水区狩口台
 4丁目31-505
 srolanhproject@gmail.com
 080-4766-0790(代表：飯塚)

チョムリアップスオ ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様から、たくさんのご支援をいただきまして、心から感謝しています。当NPO法人スロラニプロジェクトも2010年から活動を開始し、一昨年2013年8月にはNPO法人を取得するにいたりました。当初は、カンボジア王国シェムリアップ州の村の既存の小学校などに、文房具や鞆などをプレゼントする小さな活動から始めました。

そして現在は、まだまだ小さな活動ではありますが、「子どもの命を守る」という変わらぬ理念の基、「障害を持った子どもたちの支援」に集約されてきました。もちろん、2012年に、皆様のご支援で建設した「私たちのスロラニ小学校」の継続支援も行っています。

「自分が出来ることから」と始めたこの活動に、同じ気持ちで参加してくれた頼もしいメンバーの救急救命や歯科検診などの活動も広がりました。

今年も、障害を持った子ども達とお母様が参加するデイサービスを実施するとともに、「かけがえのない子どもの命を守る」ことを目的にがんばりたいと思います。ぜひ変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

(NPO法人スロラニプロジェクト代表 飯塚由美子)

2014年 カンボジア現地支援 写真で振り返る 主な活動報告



歯医者さんのボクにできること



2005年に、ある団体の「カンボジア歯ブラシ運動」に参加した。プノンペンを中心に小学校をいくつかまわり、教室で簡単なブラッシング指導を行って、寄付で集まった歯ブラシを配布。村人とふれあって、住居を訪れ、我々との生活の違いを見た。ボル・ポトや地雷についてもそれらを伝える施設で惨状に驚いた。でも、一番印象に残ったのは子どもたちの澄んだ瞳と屈託のない笑顔。

口の中はというと、昭和のむし歯の洪水と言われていた日本の子どもたちに近いかもしれない。校門前に駄菓子屋が店を構える時代が過ぎ去ってから、ボクは歯医者になったので、あくまで想像だけど。生えてきたばかりの6歳臼歯が崩壊してしまっていて、痛みもあるだろうし、大人になったら困るだろうに、甘いお菓子をもったらとびきりの笑顔。

そんな子どもたちの笑顔にまた会いに行こうって、思った。でも、日常に追われるうちに、だんだん記憶は薄れ、熱い思いも次第に冷めてゆく。ただ、知的障がい者の施設で口腔ケアボランティアを細々と続けていたからか、くすぶりは完全に消えずに残っていて、スロラニプロジェクトとの出会いで再燃。歯医者として、何かしらやってみたいと思い参加させてもらった。

8年を経過して、カンボジアで出会った子どもたちの口の中はあまり変わっていないという印象。これは予想通り。歯の状態は村の利便性に反比例する（便利になった村ほど歯は悪くなる）んじゃないかな、と想像しつつ、自分にできることを考える。

ハードルは高い。簡単じゃない。だけど、こんなボクにできることを、少しでも。子どもたちの歯を守れたらってことで、定期的に歯ブラシを届けよう。このプロジェクトは、同じ人たちに継続支援ができるから。一度きりではない支援。「また来るから」「やあ久しぶり」のやりとり。障がいを持つ子や孤児はもちろん、貧しい村人に。そんなつながりの中で、ボク自身がやりがいを見出し、生きる勇気をもろう。そして、このNPOはまだ生まれて日が浅い発展途上の組織だから、余計におもしろそうだなって気がしている。発展途上のボクができることを、ここでやってみたい。(歯科医師 大森茂樹)



スロラニちゃん お知らせコーナー

「なぜ、カンボジア? 愛すべき子ども達がいる王国」

飯塚由美子著 (有) 木下ブンセイ出版印刷

スロラニプロジェクト代表飯塚がカンボジア支援活動を進めるに至った経緯について、書かれた本が発売されました。ご購入希望の方は、当団体まで、ご連絡お願い致します。定価1000円

本の売り上げは全てカンボジアの障がい児支援に使われます。

「出版記念講演会」のお知らせ
 平成27年1月31日 14:00~
 場所: JSEインターナショナルスクール JR大久保駅北徒歩7分